誠に失礼の極みながら、非常に重要な用向きのため、前略ごめん願います。
長年来のお客様方は「不自然」とお感じではないであろうと存じますが、縁深からぬお客様各位には、さぞご不審のことと存じます。
弊社ホームページや総合カタログに、大々的にアピールし続けております「天皇云々かんぬん」の件でございます。
しかしながら、どうぞご安心ください。
私のプロフィールに記しておりますことは、全て事実でございます。
更には今現在も、私ども所轄の警察当局が「天皇陛下のご命令で社長さん（私のことです）の健康状態をチェックさせ続けてください」と、警察らしからぬ低姿勢での月例会が、もう五年以上も続けられているのでございます。
私が七年前に大病を患い、スメラギ特別広報隊活動での上京が出来なくなって以来ずっとでございます。
また、トランプ・プーチン両大統領についての件も同様でございます。
殊に東京港区麻布台の駐日ロシア連邦大使館に至っては、弊社の大型トレーラー街宣車に対して非常に友好的で、今現在、私から大使ご本人宛の電子メールの返事待ちをしておる状況でございます。
以上のようなことから私自身《人類根本救済》に向けて、日本のみならず世界的な「機」が熟しつつあるように思われてならないのでございます。
お客様各位には、何卒ご期待の上、引き続きごひいきの程、くれぐれもよろしくお願い申し上げます。

令和八年　救世手紙一　　代表取締役　覚者播磨屋助次郎　敬白